

- ▶ 感染者の急増により、感染が確認されても、すぐに医療機関等へ入れない方が多数発生しており、医療提供体制は危機的な状況
- ▶ 中等症や重症患者が増加しており、今後、更なる増加が懸念される

【本市の状況 (1/8時点)】

○病床のひっ迫具合

(熊本市病床使用率) **84.9%**

特別な配慮が必要な方への確保病床を除いた場合

95.7%

○入院等調整中

過去最多

116人

○重症・中等症患者数 (1月9日時点)

過去最多

46人

医療体制の崩壊を防ぎ、74万市民の命を守るため

熊本市医療非常事態宣言

を発令します。

市民への要請 ～「熊本市医療非常事態宣言」発令中～

外出

- ① 重症化リスクのある方（高齢者や基礎疾患のある方）と、その同居家族の方は、不要不急の外出を避け、人との接触を控えてください。
- ② 午後10時以降の不要不急の外出は、控えてください。
- ③ 帰省や旅行など、不要不急の県外との往来を控えてください。

職場

- ① 職場における感染防止対策を強化してください。
 - ▶ 事業者は、在宅勤務（テレワーク）やローテーション勤務等を強力に推進し、「出勤者数の5割削減」を目指してください。
（社会機能維持に従事しているものについては、この限りではありません）
 - ▶ 特に、感染リスクが高まる「居場所の切り替わり」（休憩室、更衣室等）に注意してください。

会食

- ① 同居家族以外との会食を控えることを徹底してください。

イベントの対応

- ▶ **市主催イベントの中止又は延期（期間延長）**
 - ・ 当面の間、市主催イベントを中止又は延期する。

市有施設の対応

- ▶ **高齢者等の利用が多い市有施設の休館・利用休止を継続**
(12/19以降休館・利用休止中)

高齢者施設等従事者への緊急PCR検査の実施

- ▶ **重症化のリスクが高い高齢者等が利用する入所・入院施設等の従事者を対象にPCR検査を実施。**併せて、施設内での感染予防対策について啓発を実施。
〔対象施設〕 694施設：高齢者施設（480）、障がい者施設（76）、医療機関（210）の従事者
〔対象者数〕 約3万7千人

接待を伴う飲食店への「緊急出張PCR検査」実施

- ▶ **引き続き感染者多発エリアにおける緊急出張PCR検査の積極的な勧奨・実施**
〔検査実績〕 1月9日時点 105店舗 427人